

(配布先)
支店長・副支店長
施工担当部署長・建設所長
副部長・副所長・統括工事長
安全長・安全主任
工事長・工事主任
関西支店取引業者災害防止協議会

事務連絡(2024-49)
令和7年1月16日

関西支店 安全環境部長

死亡・重篤災害の撲滅について(指示)

先日、他支店新築工事作業所において、機械式駐車設備の電気工事作業中に作業員が約11m墜落して死亡する災害が発生しました。(別紙1参照)

災害の要因については、現在、警察及び労働基準監督署が調査を進めていますが、昇降リフトへの搭乗に関するルールと安全帯を使用するという基本ルールが守られていなかったことが墜落の主要因であると思われま

す。機械式駐車設備やエレベーター設備などの工事は、作業場所が昇降路内などの閉鎖的な空間となるため、ブラックボックス化しやすい特性があります。このため、安全管理が手薄になりがちです。また、過去にも同様の災害が発生しているにもかかわらず、その経験が活かされていないことは誠に遺憾です。

今年度、すでに6件の死亡災害によって、貴重な仲間が命を落としました。この深刻な災害の連鎖に何とか歯止めをかけるため、日常の安全管理活動(別紙2参照)が実効性のあるものになっているかどうか、改めて振り返り再確認をお願いします。
<参考資料1～6参照>

そして、一人ひとりが災害を自分ごととして捉えて(別紙3参照)、朝礼やKY活動等を通じて、関係者全員が死亡・重篤災害の撲滅に向けた意思統一を図るよう強く指示します。

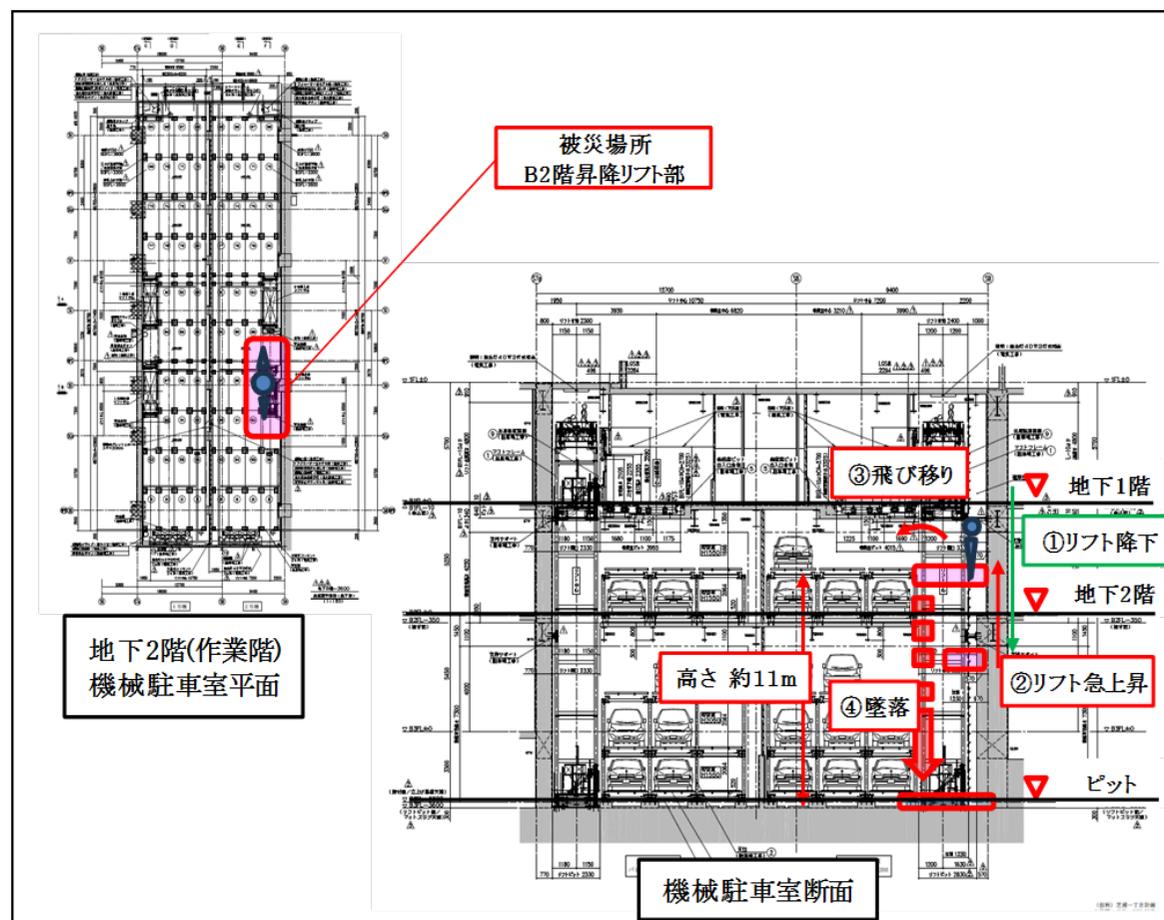
※この事務連絡は、示達本(安環安)24-17安全環境本部(令和7年1月14日)発行に基づき作成しました。

以上

(墜 落) 機械式駐車場のパレットから約11m墜落

◇ 発生日時 : 2025年1月6日 (月) 午前9:15分頃

◇ 被災者 : 昇降機工 52 歳 (所属 2次) 経験 33年9ヶ月



【発生状況】

機械式駐車設備で、被災者が昇降リフトに乗って地下1階から地下2階へ降りようとした際、リフトが地下2階で止まらず被災者が『止まらない』と声を出したので、地下2階にいた相番者がリフトを止めようと地下2階の緊急停止ボタンを押したところ、リフトが逆に急上昇をし始めたため、慌てた被災者が地下2階上部レベルのパレットに飛び移ろうとしたが、うまく乗り移れずに後ろ向きにピットまで約11m墜落した。

(死亡)

(配 布 先)

支店長・副支店長
施工担当部署長、建設所長
副部長・副所長・統括工事長
安全長・安全主任
工事長・工事主任
関西支店災害防止協議会

事務連絡 (安-2024-09)
令和6年5月30日

関西支店 安全環境部長

墜落・転落災害の撲滅について (指示)

今年度の重点施策として墜落・転落災害の撲滅に取り組んでいるところですが、他支店作業所において、5月に連続して次の2件の墜落災害が発生しました。

- ・5月15日(水)：ダンプの荷台から約2m墜落 (別紙1参照)

安全帯未使用、休業見込み30日

※設置された墜落防止設備は、ダンプのタイヤで踏みつけて使用するため時間がかかり、安全帯使用の手順が省略された。

- ・5月20日(月)：解体工事で開口部から約7.5m墜落 (別紙2参照)

安全帯未使用、休業見込み60日

※開口手摺を撤去する際の手順や安全対策はルールで定められていたが、当該作業については当社が把握しておらず、KY等にて具体的な指示ができなかった。

いずれも安全帯を使用するという基本ルールが守られておらず、特に、解体現場での開口部からの墜落は昨年末にも発生しており、歯止めがかかっていない状況です。

この事態を重く受け止め、墜落・転落災害の撲滅に向けた重点実施事項を再徹底するとともに、不安全行動の根絶と先端作業員の危険感受性の向上に向けて下記事項を徹底するよう指示します。

記

1. 適切な安全設備の設置等 (別紙3参照)、不安全行動を誘発しない「作業環境の整備」及び現場の不備を言いやすい「雰囲気作り」に取り組むこと。
2. 墜落リスクのある作業は、必ず事前に作業内容を洗い出し、当社社員が現地KYに立会い、具体的な指示を行うこと。
当社社員が現地KYに立ち会えない場合は、事前に職長と打合せを行い、留意すべきポイントを盛り込んだA4スケッチ手順書を作成し、効果的な現地KYを実施すること。
3. 「M(黙認しない)・M(見落とさない)・D(妥協しない)」の姿勢で「声掛け是正」を行い、不安全行動を指摘し合える「コミュニケーションの活性化と一体感の醸成」に取り組むこと。

以 上

(配布先)
支店長・副支店長
施工担当部署長・建設所長
副部長・副所長・統括工事長
安全長・安全主任
工事長・工事主任
関西支店取引業者災害防止協議会

事務連絡(2024-35)
令和6年11月15日

関西支店 安全環境部長

「事故・災害 自分ごと化プロジェクト」の推進について (要請)

令和6年度 全社安全衛生計画の重点施策に定める「ゼロ災を達成するための行動規範」として、“全員が当事者意識を持ち「自分と仲間の生命と心身の健康を守る」という信念で、「ダブルセーフティ」を基本に、円滑なコミュニケーションのもと、PDC Aをしっかりと回す”を掲げています。

しかしながら、災害の多発に歯止めが掛からない状況が続いており、このような状況から脱却するには作業員一人ひとりの危険感受性の向上が欠かせません。

つきましては、当社で発生した事故・災害を自分にも起こりうることに認識し、作業員自らが再発防止策を考える「事故・災害 自分ごと化プロジェクト」を下記の要領で推進してください。

また、本活動の定着を図るため、作業所では「積極的な取り組みをしている取引業者」、部門では「優良な作業所」の表彰等について検討するよう要請します。

記

1. 実施事項：事故・災害発生状況を示した資料をもとに、作業グループごとに意見交換を実施した上で、作業グループとして同種事故・災害を防止するための行動目標を立案し実践
2. 開催頻度：月1回以上（2回目以降は、取引業者の任意）
[例]安全衛生協議会、事業主パトロール、官庁工事「安全勉強会」などの機会に合わせて実施
3. 開催テーマ：当社の事故・災害から事業主や職長、または作業所長が選定
(参考：当社の災害事例検索↓)
<http://intranet.shimz.co.jp/anzen/under4days/>
4. 現場内掲示：立案した行動目標をデジタルサイネージ等により現場に掲示
5. 添付資料：(資料1) 関西支店活動例
(資料2) 「現場内掲示」の例 (原紙データ付)

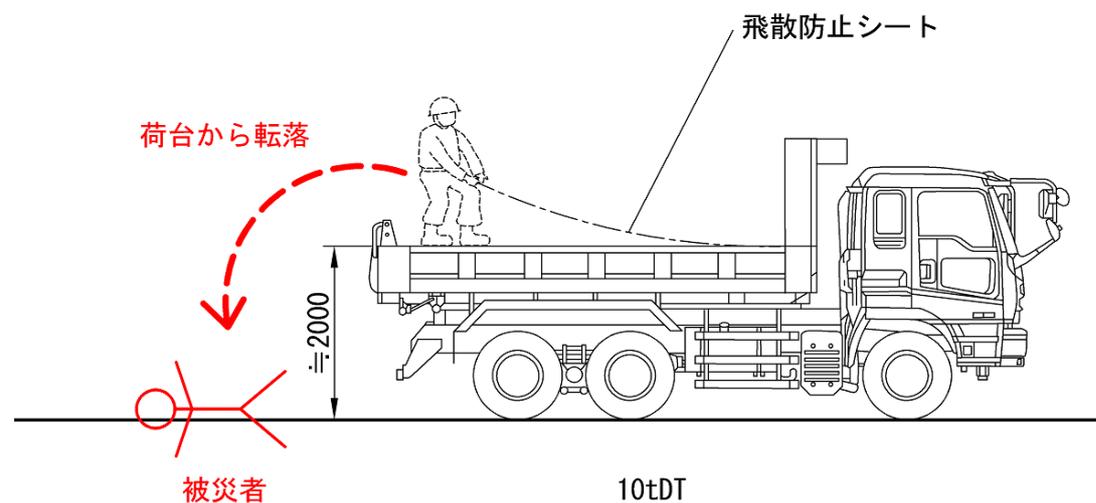
※この事務連絡は、事務連絡 24-27(令和6年11月14日)安全環境本部発行に基づき作成しました。

以上

(墜落) ダンプトラック荷台から土工が墜落

◇ 発生日時：2024年5月15日（水）午前11:10分頃

◇ 被災者： 土工 37歳（所属2次）経験3年2ヶ月



【発生状況】

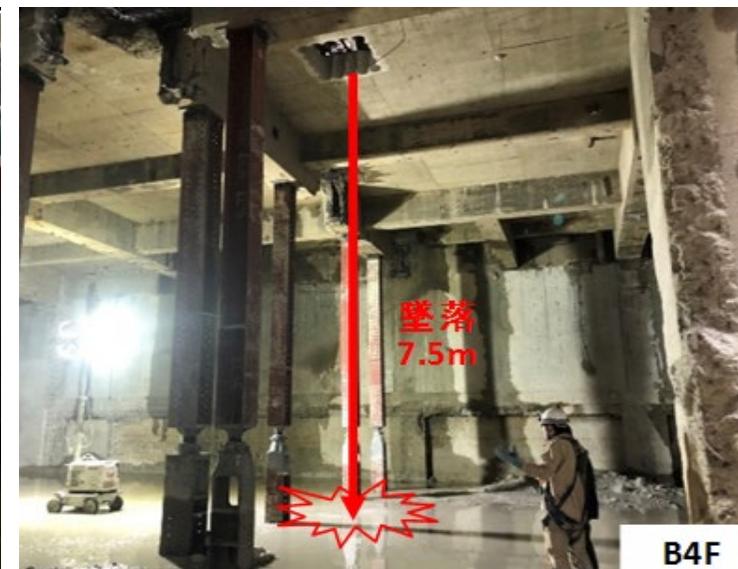
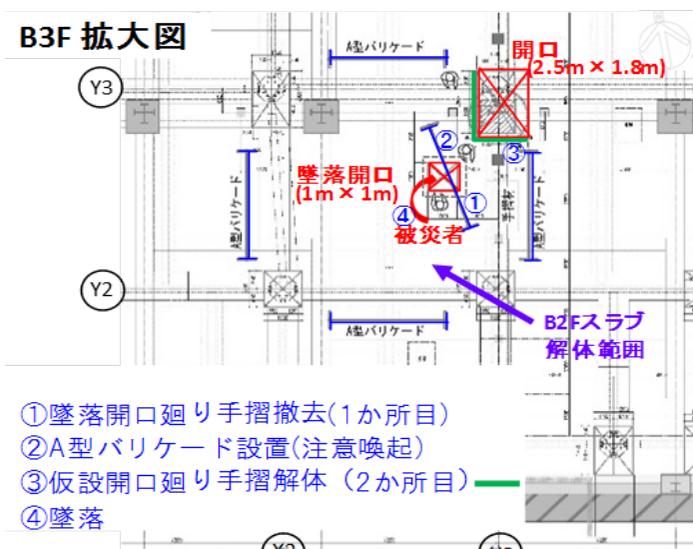
10tダンプトラック荷台上で、飛散防止用シートを掛ける作業において、後方アオリ付近で、後ろ向きでシートを引張った際に、アオリから後ろ向きに墜落した

(急性硬膜下血種, 肺挫傷, 肘肩擦傷)(休業見込日数 30 日)

(墜落) 建物解体工事で、荷揚開口から約7.5m墜落

◇ 発生日時：2024年5月20日（月）午前8:30分頃

◇ 被災者：建造物解体工 35歳（所属2次）経験7年1ヶ月



【発生状況】

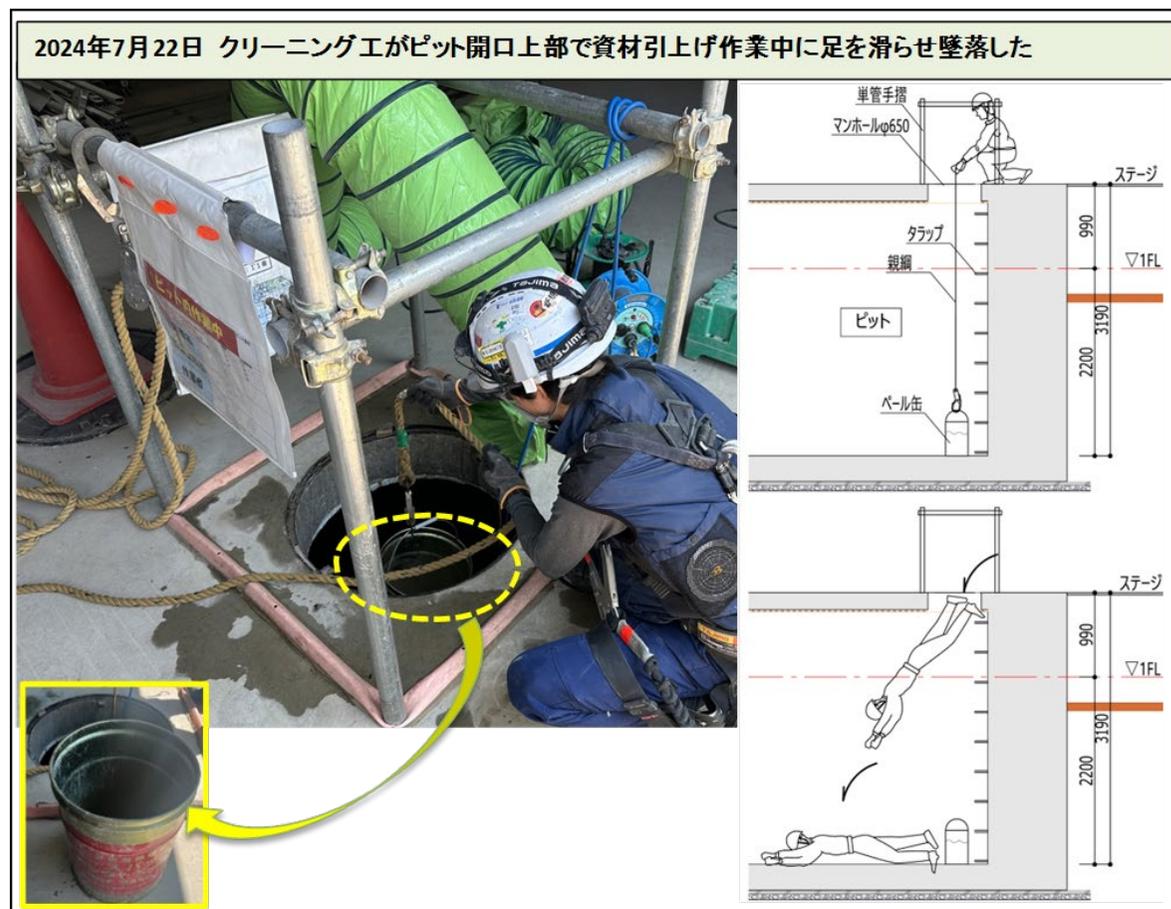
建物解体工事において、B2Fスラブ解体の準備のため、B3Fの開口部手摺の撤去等の作業中、誤って開口部から墜落した。

(左橈骨尺骨骨折、左腸骨骨折、) (休業見込日数 60 日)

(墜落) クリーニング工がピット開口上部で資材引き上げ作業中に墜落

◇ 発生日時：2024年7月22日（月）午前11:20分頃

◇ 被災者：クリーニング工 25歳（所属2次）経験3年11ヶ月



【発生状況】

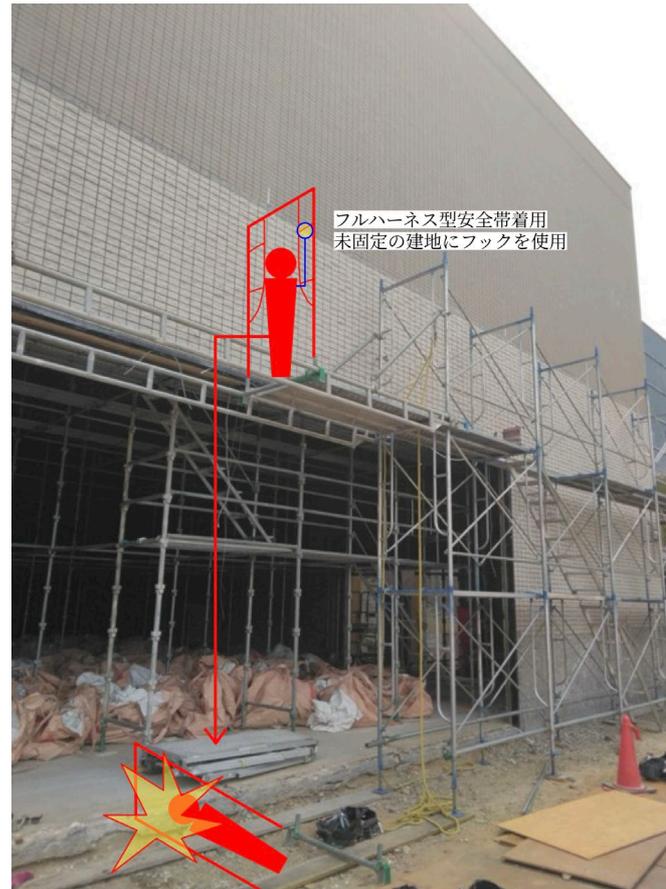
1階ピット開口上部で、バール缶に溜めた水(15kg程度)を親綱を使いピット内(H3.2m)から引き上げる作業をしている時に、ピット開口まわりの単管手摺の下部で、しゃがんだ状態でバール缶が繋がった親綱を引き上げる際、単管手摺に安全帯を掛けずにピット開口上部に身を乗り出す作業姿勢となり、足を滑らせバランスを崩しピット内へ墜落した。

(右橈骨頭骨折、右大腿四頭筋挫傷) (休業見込日数 30 日)

(墜 落) 鳶工が外部足場組立中に墜落

◇ 発生日時： 2024年8月9日 (金) 午後3:50分頃

◇ 被災者： 鳶工 23 歳 (所属 4次) 経験 2年3ヶ月



【発生状況】

解体現場の外部足場の梁柱(地上から2段目、高さ約3.5m)上の足場を組み立てている時、未固定の建柱に安全帯のフックを掛けた状態でバランスを崩して建柱受けパイプが回転し、倒れた建柱とともに地面まで墜落した。

(左橈骨遠位端骨折、右橈骨遠位端骨折) (休業見込日数 28 日)

(墜落) 吹付工が養生作業中に墜落

◇ 発生日時 : 2024年9月27日 (金) 午前10:00分頃

◇ 被災者 : 吹付工 29 歳 (所属 3次) 経験 9年5ヶ月



【発生状況】

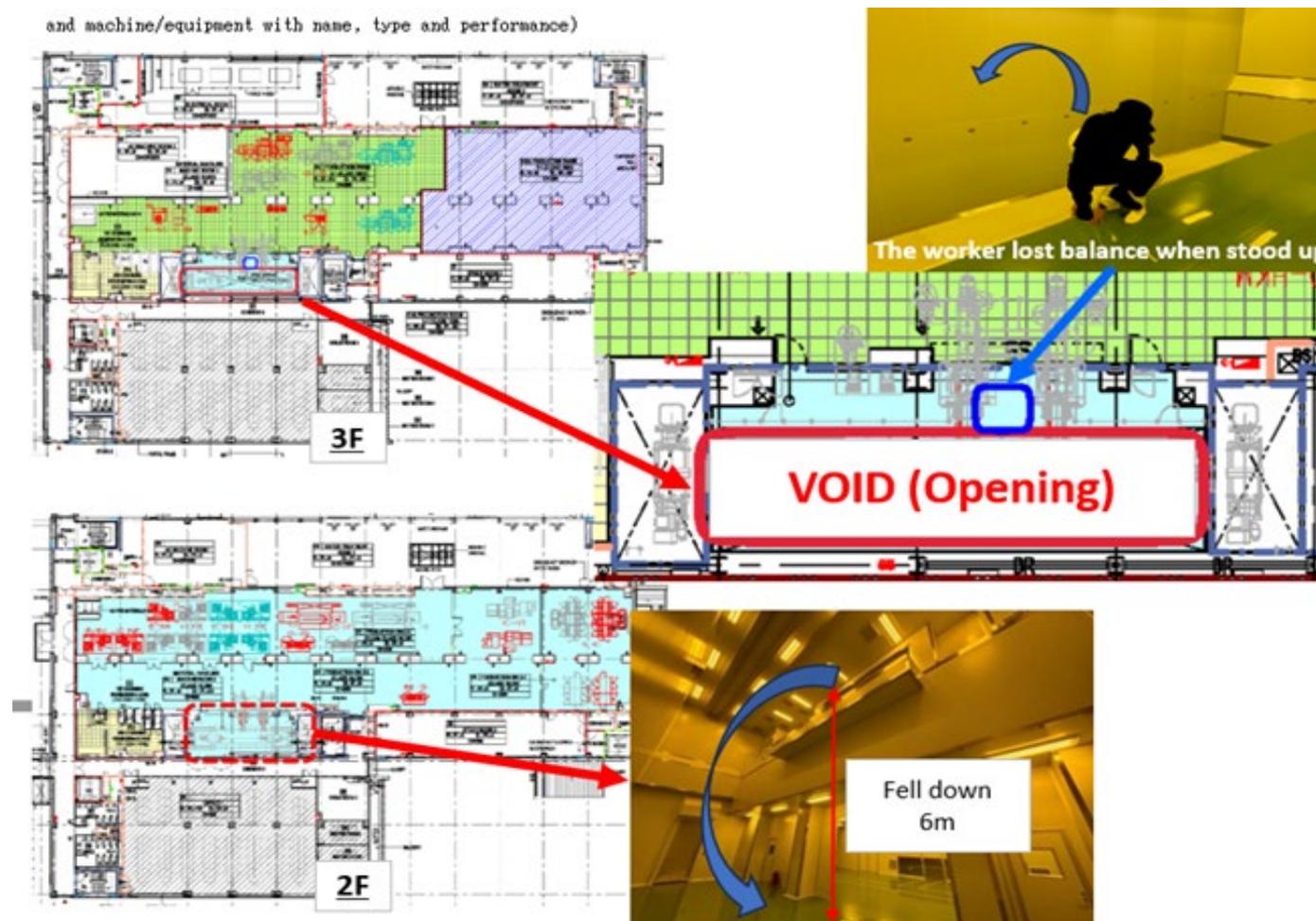
データセンター棟の東南側2F~3F(中間階あり)にて、セラタイカ工が吹付け養生のため、中間階上部の床開口部をブルーシートで塞いで(水平ネットはすでに撤去していた)、床開口部に自ら危険表示のカラーコーンを置いて写真②梁部の残養生をしていた際、体勢を崩し開口部から2F床まで約4.5m墜落した。

(脳震盪・右橈骨遠位端・右脛骨・
左肋骨骨折・肺挫傷・左肩部打撲) (休業見込日数 30 日)

(墜 落) 防水工が床端部から約6m墜落して死亡

◇ 発生日時 : 2024年11月20日 (水) 午後14:15分頃

◇ 被災者 : 防水工 45 歳 (所属 1次) 経験 13年



【発生状況】

クリーンルーム内の吹抜に接した床端部で、シールの残工事をするためマスキングテープ貼り作業中、吹抜に対して後ろ向きで作業しているところを当社担当者に注意され、立ち上がった時にバランスを崩して約6m墜落した。(被災者はヘルメット、安全帯未着用)